



STOP !

安倍政権雇用破壊 解雇規制と労働時間規制を守れ！

集会アピール

安倍政権は、いわゆるホワイトカラー・エグゼンプションや裁量労働制の拡大等を内容とする労働基準法改正法案を国会に提出し、継続審議中である。この法案が可決されてしまうと、際限の無い長時間労働が合法化され、労働者の心身の健康を蝕み、その結果、過労死・過労自殺といった悲劇が多発しかねない。

また、安倍政権は、職場への復帰を前提としない「解雇の金銭解決制度」導入へ本格的に動き出し、労働者を容易に退職させる制度の構築を目指している。この制度が導入されてしまうと、解雇規制は有名無実化し、労働者は使い捨ての駒となり、ブラック企業・ブラックバイトを増長させかねない。

こうした安倍政権による雇用破壊政策は、本年7月の参議院選挙の結果如何によっては、一気に強行される恐れがある。

報道によれば、安倍首相は「同一労働同一賃金」に意欲を見せ、長時間労働を是正するための対応策の検討を指示したとされる。しかし、派遣法改悪の経過を顧みれば明らかなように、安倍政権は本気でこうした政策を実現しようとはしておらず、むしろ上記雇用破壊政策を実現するため、国民の批判をそらそうとするものである。

我々は、安倍政権の姑息な手段に騙されることなく、雇用破壊政策の危険性とそれが来る参議院選挙における重要な真の争点であることを広く市民に知らせ、安倍政権による雇用破壊を許さないという結論を選挙で示すことが必要である。

そして、日本で働く全ての労働者とその家族が心から安心して暮らせる社会を実現するため、本日、この場に集まった皆さん、全国のあらゆる労働者・労働組合の皆さんと団結して闘い抜くことをここに宣言する。

2016年6月6日

法律家8団体共催集会参加者一同